
12月5日（土） 14:00～16:30

【テーマ】 住居

【タイトル】

伝統的な日本家屋に学ぶ気候・風土・暮らしとつながる住まいづくり

【概要／狙い】

伝統的な家屋には、半分外の部分（縁側や土間等）があり、家屋の外と緩やかに繋がっています。

気候風土との関わり、自然との応答の中で培われた技術と知恵によって造られ、その土地でとれる材料、地域の資源や技術を使う「地産地消」が基本で、それが地域ごとに特色ある風景を生み出してきました。

日本の伝統的な住まいづくりには、驚くべき技術と知恵が詰まっています。しかし、現代では、産業としての住まいづくりが先行し、廃棄物やシックハウス、海外の森林破壊などの問題が起きています。

そんな中、環境に負荷をかけない家、日本の森林を活かす家、日本の伝統技術を継承する家、セルフビルドによって手間をかける家、パッシブ技術や再生可能エネルギーなどを利用した自立する家、地域の信頼関係や地域経済への寄与などに配慮した家などが注目を集めています。

また、現代人の生活の中で、「家には寝に帰る」ことが多くなっています。人が暮らし、その中で文化や関係を育む場所としての「住まい」を再興したいものです。

現代技術と日本の伝統家屋の良さを融合した家屋を自ら設計し、住まわれている講師の山田さん宅に伺い、議論します。

【場所】

神奈川県藤野町

【講師】

山田 貴宏 / ビオフォルム環境デザイン室 代表

【課題図書】

『里山長屋を楽しむ』

著者：山田貴宏（学芸出版社）

【参考サイト】

[NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン](#)

【参考写真】

